

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 英語コミュニケーション I ナンバリング：1012		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：岡島勇太、 小野安昭、後藤範子 担当形態：クラス分け
授業の到達目標及びテーマ 1. 簡素な英語表現で自分の考えを相手に過不足なく伝える力を身につけることができる。 2. 基本的な英語を聞き取って相手の言う事が理解でき、基本的な対応ができる。 3. 基礎的な英語で相手とコミュニケーションを取る姿勢を身につけることができる。			
授業の概要 授業は、講義形式と演習形式で構成されています。講義形式の授業では、文法事項、重要語句の解説を行い、リーディングとライティングの能力向上を目指す。次に演習形式の授業では、ロールプレイングやカードゲーム等を取り入れ、リスニングとスピーキング能力の向上を目指す。			
授業計画 第1回：Orientation オリエンテーション (授業の説明等) 第2回：Greeting a visitor 来客受付 第3回：Greeting a visitor 来客受付(つづき) 第4回：Making a visitor comfortable 来客案内 第5回：Making a visitor comfortable 来客案内(つづき) 第6回：Receiving incoming calls 電話を受ける 第7回：Receiving incoming calls 電話を受ける(つづき) 第8回：Making outgoing calls 電話をかける 第9回：Making outgoing calls 電話をかける(つづき) 第10回：Making a reservation 予約をする 第11回：Making a reservation 予約をする(つづき) 第12回：Giving messages 伝言を知らせる 第13回：Giving messages 伝言を知らせる(つづき) 第14回：Scheduling スケジュール管理 第15回：A job interview at the office 就職面接 定期試験：筆記試験		事前・事後学習 (授業時間外学習 1時間以上) ・授業前は、1時間程度の予習が必要である。各Unitの英文の音声を繰り返し聞き英文を音読し、わからない単語を調べておくこと。 ・授業後は、1時間程度の復習が必要である。各Unitの講義内容を復習すること。また、英文の聞き取りと、音読を行うこと。	
授業の方法 講義(基礎知識を学ぶ講義を含む)および演習。(ロールプレイング、カードゲーム) 单元ごとフィードバックテストを実施。			
テキスト 『英語で学ぶ オフィス・コミュニケーション』 藤田利久他 西文社			
参考書・参考資料等 適宜指示する。			
学生に対する評価 小テストの成績 (30%)、定期試験の成績 (50%)、授業参画度等 (20%) を判断して評価する。			
履修上の注意 指定教科書、辞書を毎回持ってくる。授業前に教科書の英文の音声を繰り返し聞き、聞き取り能力を高め、積極的にロールプレイングやカードゲームに参加すること。わからない単語は意味を調べておくこと。毎回授業に出席し、積極的な姿勢で参加すること。			
実務経験の有無	有	実務経験	小野：元チュニジア特命全権大使
実務経験を活かした教育内容 小野：海外駐在経験を活かし、学生の英語によるコミュニケーション能力を伸ばせるよう授業を行う。			